

川越北環状線の4車線化に向けた整備について

【川越北環状線の位置づけ】

川越市の中心市街地は、「小江戸川越」として観光客の増加もあり、交通混雑が著しい状況にあります。

川越北環状線は国道16号及び国道254号とともに、中心市街地を迂回し、交通混雑の緩和を図る重要な環状道路です。

【経緯】

当該路線は、平成元年に都市計画決定し、平成8年に県道川越北環状線として県道認定され、県で整備を進めてきたところです。

現在までに、川越市山田から小室までの約4.3キロメートルの整備が完了しています。

【現在】

残る小室（県道川越日高線）から脇田新町（国道16号）まで約1.2kmの4車線化事業を進めています。

- 令和4年1月 事業及び現況測量説明会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催）
- 令和5年3月 関係者を対象とした用地測量説明会
- 令和5年5月～ 拡幅する道路用地にご協力が必要な方々（沿道権利者）への事業説明及び用地測量ご協力のお願い（個別訪問）
- 令和5年10月～ 一部物件調査

